

大学や製薬会社、研究機関で行われている動物実験を批判する市民グループ「動物実験の廃止を求める会」（略称J A V A、東京）が最近全国の自治体（四十七都道府県十二政令指定都市）を対象に、動物扱い下げの実態を調査するアンケートを実施した。

こうした動きに対して、「現状では自治体による払い下げはいへん重要な役割を持っている」と、研究者は危機感を募らせる。例えば犬の場合、実験に使われている動物の数全体に占める自治体からの払い下げ比率がかなり高いからだ。

これまで集計したところでは、回答を寄せた五十五自治体のうち八自治体が「今後払い下げを削減していく」、二自治体が「廃止する予定」という。廃止する予定と答えたのは東京都と沖縄県だが、東京都ではすでに九二年度から三年計画で段

日本で一年間に実験に使われる動物の総数は、日本実験動物学会の九〇年度調査によると、犬の場合で約七万三千頭。これに対し、実験用に大学や研究機関に自治体から払い下げられた犬の数は総理府の九一年度の集計によると約五

するに今のところ払い下げがつかせない」と専門家は言う。

むろん「現状がいちばんいい」とは我々も思っていない」と名古屋大学動物実験施設の鬼頭純三助教授は言う。実験用に飼育できるで

して人間がかわいがつて来た動物を
実験用に払い下げてよいのか、
という議論とは別のところにも根
深い問題が潜んでいる。

動物実験をする際に、動物に無
用の苦痛を与えないよう、麻酔をし

指針の精神が十分実任されているとは限らない。「まれなケースが」とは思ふが、おかしいことをやっている研究者がいることは否定できない」と、専門家を話す。

実験をしていると認められた場合
には、その論文は受理されないこ
とが多くなっている。国際会議の
場でも、動物愛護に配慮してい
ない研究成果を発表した日本人研
究者が、他の研究者から批判され

は否めない。鬼頭助教教授は「今の日本の子供が、動物に対する心配りとか基本的な倫理観を培えるという育ち方をしていないことに二つの問題があるのではないか」と指摘する。大学で倫理面も含めた

階的に犬や猫の
払い下げを全面
廃止する措置に
踏み切ってい
る。

自治

体に
廃止

削減の

動き

一方、研究者の側からも適切な動物実験がきちんと行える施設の整備や管理責任者の配置が十分行われていないという指摘もある。

重物実験教育が行われるようになったのはここ数年のことだ。

批判派の中には、「人間に役立つからといって動物を苦しめる権利が人間にあるのか」と、実験動

実験動物払い下げ

また、当面の実験動物供給という点からだけでなく、動物実験用に飼育されているビーグル犬では、体が小さ過ぎて臓器移植や心臓のバイパス手術の研究ができないなどの問題もあるという。医薬品の安全性や薬効を確かめるための研究などでも、遺伝的に多様な性質を持つさまざまな動物を確保

さまざまな特徴を持つ新しい実験動物の開発と、その供給体制の確立が今後の大きな課題だとする専門家は多い。

「実験データの科学的信頼性」という意味からも、払い下げ動物を実験に用いることは将来なくなる可能性がある」と大阪大学の野村大成教授は指摘している。

しかし、いかにバットやマウス

愛護運動

研究

た、使用する動物の数を科学的に必要最小限に抑えるべきだとする考えが世界の流れになっている

運動に配 者の意識改

慮
平問われる
属実験施設の塩見雅志助教は言
っている。

動物と同じように相互依存関係の中に進化した。人間の場合には脳の発達が生存に有利に働いて発展してきたが、動物実験を使った疾病の克服もその一環ではないか」と反論する。

大半は安樂死処分されるが、一部は実験動物としてこれまで大学などに払い下げられていた。

アンケートの回答には入っていないが、すでに神戸市は昨年四月に払い下げ廃止に踏み切った。また兵庫県も今年の二月末に、実験用への払い下げに厳しい条件をつけた新しい条例案を県議会に提出している。実験用への動物払い下げの道が徐々に狭くなって来ているのは確かだ。



人間と動物の付き合い方の
原点が問われている

自治体に廃止・削減の動き

愛護運動に配慮

研究者の意識改革問われる

たり、使用する動物の数を科学的に必要最小限に抑えるべきだとする考えが世界の流れになっていく。日本でもこの流れに沿っていくつかの対応が進められてきた。倫理面を考慮した実験が行われ

プJVAの野上あさ子事務局長は「日本には欧米のように罰則も含む厳しい法律がない」として、問題のある実験が十分チェックできる体制になっていないと指摘する。審査委員会も学内関係者だけ

属実験施設の塩見雅志助教は言
 っている。
 もちろん、古くから動物愛護団
 体の厳しい批判を受けてきた欧米
 の研究者に比べ、日本の研究者の
 意識が全般的に立ち遅れ気味のな

観、世界観の違いとしか言いがたないが、動物をいたすに苦しめてはならないという点では一致するはずだ。議論を深め共通の課題を解決していくことが今求められている。

に動物実験に関する指針を發表。文部省も動物実験の妥当性を審査する委員会を学内に設けることなどを内容とした指針を同年各大学に通知した。日本でもここ数年、実験動物を扱う研究者の間によりやく、動物福祉、意識が広まってきた。

しかし、研究の現場でこうした

ことに不満を示す批判派もいる。これに対し、「研究成果は学会で発表しているわけだから、公開されていると考えている」と研究者側は言う。おかしな実験をすれば、厳しい批判にさらされるといふわけだ。

新築マンション市場
向きの兆しが表れ始め
市場回復のバロメー
は①新規発売戸数の増
売れ残り在庫の減少
③新規契約率の六五
%ラインの維持――
である。

② 実需回復の背景には供給価格の抑制と金利の低下がある。九年（二十十月）の二戸当たり平均価格は四